

建交労

のとうきょう

建交労東京都本部機関紙

「建交労とうきょう」はいつでもみなさまからの記事や写真を待っています。

(メール) tohonbukenkouro@smile.odn.ne.jp
ホームページ
http://www.kenkouro.com/

発行所
全日本建設交通一般労働組合東京都本部
〒135-0048
江東区門前仲町1-20-3
東京建設自労会館7階
電話 03 (3820)8644(代)
fax 03 (3820)8646
編集発行人 松田 隆浩
1部15円組合費に含まれる(〒60円)

京王新労組 京王電鉄株主総会宣伝行動開催

京王新労組支援共闘会議は6月28日の京王電鉄株主総会に際し、会場である京王プラザホテル八王子前に於いて、宣伝行動に取り組みました。当日は9時より株主総会が開始される10時までの1時間、株主に対し、京王電鉄が行っている組合攻撃、不当労働行為を止めさせ、争議を解決して正常な労使関係を結ぶよう求め、それが株主にとっても有益だということを訴えました。支援共闘から、伊藤議長（東京地評元議長）の訴えから始まり、東京トラック部会の中島事務局長をはじめ、多くの支援者に連帯の挨拶を受け、成功しました。10時が近づくと、多摩川太鼓の音頭と大きな声援を背に受け、株主として会場に入りました。株主総会は、ホテルの一番大きな部屋で開催され、それでも入りきらずに第二会場まで作られました。議事に入り、京王電鉄社長が議長を務め、議案や報告事項を説明後に株主からの質問を受けました。私も当然、質問に立ち、争議の早期解決を求めました。それに対し「誠実に話し合う」との回答を得ましたが、これまでも同様の回答です。質問は、2問までに制限され、5分も経つと議長から「簡潔に」と促されますが、株主に実態を知らせるには何よりも効果的です。会場外では、京王新労組藤山書記長の「公共交通の安全のために、争議を解決しろ！」という、力強いシュプレコールで締められました。【京王新労組 支部 執行委員長佐々木 仁】



京王プラザホテル八王子前には、多くの仲間が集いました



京王電鉄は、争議を早期に解決しろ！

第4期 建交労東京学校

2015年に開校した建交労東京学校は、今年で第4期目を迎えました。職場で新しく組合幹部になられた方、新入組合員の方、改めて組合の基礎を学び直したい方を対象に、4回コースで5月、6月、7月、9月に開催しています。テーマは「賃金と雇用」「労働時間と人間らしい働き方」「労使関係」「政治を変える運動」と、基礎的な内容になっており、毎年同じテーマを反復しています。5月開催の「賃金と雇用」は都本部の遠藤書記長が講師を行いました。6月開催の「労働時間と人間らしい働き方」は神田支部の石塚書記長（都本部副委員長）に講師を迎えました。7月14日（土）に開催した「労使関係」は、労働者教育協会常任理事、東京学習会議常任理事の江口健志氏に講師を依頼。「組合生活を行う上で、労使関係の在り方を学ぶ事はとても重要。首都圏運輸集団交渉団は、日本の宝だ。」と熱弁されました。講演後、少人数に分かれて行う分組会で、参加者から各職場の実態を報告し合い、学習内容を深めました。学習会後は、池袋でビュッフェランチを食べながら交流しました。次回第4回「政治を変える運動」は、9月15日（土）9時30分から、東京地評ラパスホール（最寄・大塚駅）にて開催されます。皆さん是非ご参加下さい。参加費無料です！

【東京都本部 書記局】



石塚副委員長



江口常任理事

6月15日~17日 建交労フェスタin北海道!

●神田支部

小池 晴樹

建交労フェスタは、4年に一度、全国青年部員と開催地の現地実行委員が主となって行われ、主に全国の青年婦人部員の幹部育成と他産業部会との交流などを目的としているものである。

2日目は全体でのレクリエーションとしてパークゴルフを行った後に、青年層とそれ以外のグループに分かれ、私達青年層は青年セミナーに参加を致しました。セミナーでは小樽へとバスで

向かい、小林多喜二という小樽出身の作家の歴史や生い立ちに触れながら、小樽市内を2時間ほど散策致しました。また、道中考えさせられる場面も多く、語弊があるかもしれませんが、前回に比べ非常に濃い内容であったと感じました。

3日目に札幌教育文化会館にて閉会式が行われ、初日、2日目の各催事をまとめたムービーを鑑賞し、その後角田中央執行委員長より、組織拡大と幹部育成への熱い思いと、青年部、女性部に対し尽力を尽くす思いが語られました。

最後に、青年婦人部員の代表者による感想と決意表明が行われ、閉会となりました。前回に続き参加させて頂いた者としての率直な感想を述べますと、前回に比べて非常に自身の詰まった内容に纏まっていたと感じました。また、夕食交流会では、普段はあまり同じ席で会話をする機会の少ない他組織の委員長や、書記長の方々ともお話をさせて頂く事ができ、貴重な経験を得る事ができたと思

います。また、今回は、前回よりも青年層の参加者が増えている印象も受け、今後の組織の更なる発展に向けて着実に前進をしていると確信いたしました。

多くの産業、業種の方で形成されているのも建交労の特徴の1つでもあります。普段はなかなかお互いの仕事の内容や現状を話し合う機会は少ないものです。建交労フェスタでは、そ

れが一同に集まって情報交換や共有などを図れる場でもあります。私は前回の福島でのフェスタにも参加させて頂きましたので、今回が2度目となる連続での参加となりました。

1日目に札幌市の教育文化会館に約350名の参加者が集い、開会式が行われました。開会式の後に「標的の島」という沖縄の米軍基地の問題を題材に取り上げた映画の鑑賞をし、その後札幌ビール園で夕食交流会が行われ、ホテルに移動して1日目は終了しました。

2日目は全体でのレクリエーションとしてパークゴルフを行った後に、青年層とそれ以外のグループに分かれ、私達青年層は青年セミナーに参加を致しました。セミナーでは小樽へとバスで

向かい、小林多喜二という小樽出身の作家の歴史や生い立ちに触れながら、小樽市内を2時間ほど散策致しました。また、道中考えさせられる場面も多く、語弊があるかもしれませんが、前回に比べ非常に濃い内容であったと感じました。

3日目に札幌教育文化会館にて閉会式が行われ、初日、2日目の各催事をまとめたムービーを鑑賞し、その後角田中央執行委員長より、組織拡大と幹部育成への熱い思いと、青年部、女性部に対し尽力を尽くす思いが語られました。

最後に、青年婦人部員の代表者による感想と決意表明が行われ、閉会となりました。



定山溪ビューホテルに宿泊しました



小林多喜二 文学碑前 小池さん(写真右)



札幌ビール園 石川さん(写真中央)



小樽運河



全国青年部 小林多喜二 文学碑前



組合掲示板

- 8月3日(金) 9時半~東京労働局交渉/東京労働局11階1-2共用会議室(九段下)
- 8月4日(土)~6日(月)~原水爆禁止2018年世界大会(広島)
- 8月25日(土)~26日(日)~第64回日本母親大会 in 高知
- 8月25日(土) 17時~京王支援共闘会議 JR武蔵小金井駅宣伝行動/武蔵小金井駅
- 9月 1日(土)~3(月)~建交労中央定期大会/群馬県磯部温泉ホテル磯部ガーデン
- 9月 9日(日)~建交労東京都本部第21回定期大会/トラック健保会館(市ヶ谷駅)
- 9月15日(土) 9時30分~建交労東京学校第4回/東京地評ラパスホール(大塚駅)
- 9月20日(木) 13時10分~京王新労組雇用延長地位確認裁判/東京地裁527号

